

埼玉県NPO基金 ニュース



CONTENTS

ごあいさつ／埼玉県NPO基金とは……………	2	NPO運営力強化・育成支援事業……………	15
NPO活動促進助成事業……………	4～11	NPO協働提案推進事業……………	16～18
・チャレンジサポート……………	4～6	寄附いただいた皆様のご紹介……………	19
・みんなでサポート……………	7～11	寄附のお願い／お問い合わせ先……………	20
NPO元気なまちづくり助成事業……………	12～14		



埼玉県知事 上田清司

ごあいさつ

私は知事就任以来、県民の皆様の自主的・自発的な社会貢献活動であるNPO活動を支援してまいりました。「埼玉県NPO基金」の設置をはじめ、様々な施策に積極的に取り組んでおります。

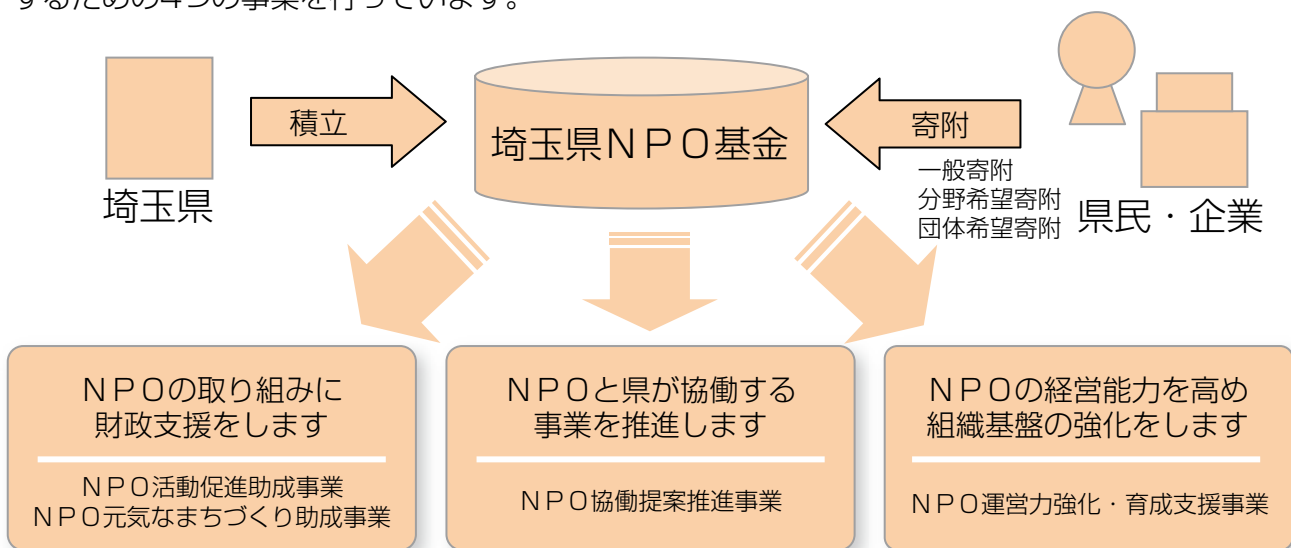
この「埼玉県NPO基金ニュース」は、基金を活用して実施した事業の平成20年度の成果をまとめたものです。

昨年、「ふるさと納税」制度が導入され、埼玉県NPO基金はさらに御寄附をいただきやすくなりました。県民の皆様の生き生きとしたNPO活動を促進するために、皆様のさらなる御支援、御協力をお願いします。

埼玉県NPO基金とは

県内NPOの自主的・自発的社会貢献活動に対する支援を行い、その活動を促進するとともに、NPOと行政との協働をさらに進めるための基金です。

県の積立金（1億円）と県民の皆様や企業の皆様からの寄附金を原資として、NPO活動を促進するための4つの事業を行っています。



これまでの事業実績

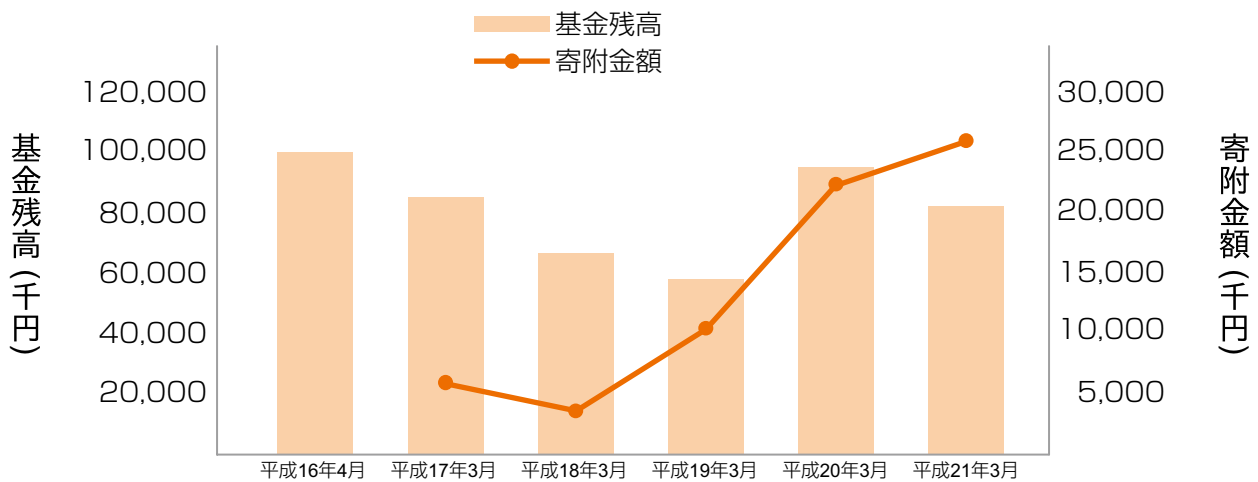
() 内は件数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
活動促進助成事業	9,728千円(27)	11,736千円(31)	11,628千円(32)	11,434千円(32)	21,348千円(36)
協働提案推進事業	3,995千円(1)	5,668千円(2)	5,176千円(2)	4,498千円(3)	5,655千円(4)
元気なまちづくり助成事業	-	-	-	-	8,654千円(4)
運営力強化・育成支援事業	5,933千円	3,908千円	3,896千円	2,798千円	1,666千円
合計	19,656千円	21,312千円	20,700千円	18,729千円	37,323千円

これまでの寄附実績

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般寄附	2,958,063円	2,380,966円	3,145,846円	2,746,432円	13,612,604円
分野希望寄附	2,990,000円	1,068,663円	1,001,000円	2,412,959円	3,198,157円
団体希望寄附	-	-	6,374,395円	17,192,407円	11,135,848円
合計	5,948,063円	3,449,629円	10,521,241円	22,351,798円	27,946,609円

基金の現況・寄附金の推移



(平成21年3月31日現在) 基金残高85,895,642円 寄附金累計金額70,217,340円

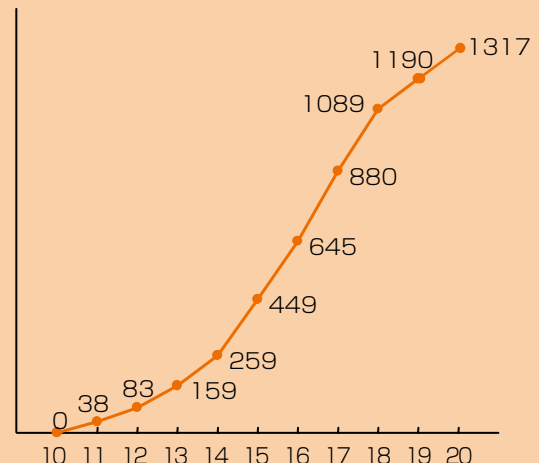
NPOとは？

NPOとは、**Non-Profit Organization**の略で、営利を目的とせず、地域の課題に対して自発的に取り組み、継続して社会貢献活動を行う民間団体です。一般には「民間の非営利組織」と訳されています。

NPOの活動分野

- ①保健・医療・福祉
 - ②社会教育
 - ③まちづくり
 - ④学術・文化・芸術・スポーツ
 - ⑤環境保全
 - ⑥災害救援
 - ⑦地域安全
 - ⑧人権・平和
 - ⑨国際協力
 - ⑩男女共同参画
 - ⑪子どもの健全育成
 - ⑫情報化社会
 - ⑬科学技術
 - ⑭経済活動
 - ⑮職能開発・雇用拡充
 - ⑯消費者保護
 - ⑰NPO支援
- ※NPO法で定める活動分野

埼玉県のNPO法人認証累計数



NPO活動促進助成事業

NPOの独創的・先進的な視点の取り組みに財政支援することにより、継続的かつ安定的な活動と団体の自立を促進します。また、地域のNPOを地域で支える仕組みを促進します。

平成20年度事業内容

助成区分	チャレンジサポート事業	みんなでサポート事業
対象事業	NPO活動を本格的に展開するために新たに実施する事業 分野枠 ：分野希望寄附金を原資として、一定額以上集まった分野で助成 一般枠 ：分野を指定せずに助成	基金登録団体が主に県内において実施する、定款（規約）に規定された特定非営利活動（社会貢献活動）に係る事業
対象団体	法人設立登記完了後3年以内のNPO法人	基金登録団体のうち、当該団体を希望する寄附金があった団体
助成限度額	100万円（事業費の2/3を上限）	寄附金額（年間1,000万円を上限）
事業実績	助成件数 計6件 〔 一般枠 5件 分野枠 1件（環境保全） 〕 助成金額 計3,646千円	助成件数 計30件 助成金額 計17,702千円

平成21年度事業予定

チャレンジサポート事業の「分野枠」については、次のとおり実施します。なお、チャレンジサポート事業の「一般枠」とみんなでサポート事業は、平成20年度と同内容で実施します。

チャレンジサポート事業「分野枠」平成21年度の実施概要

募集分野

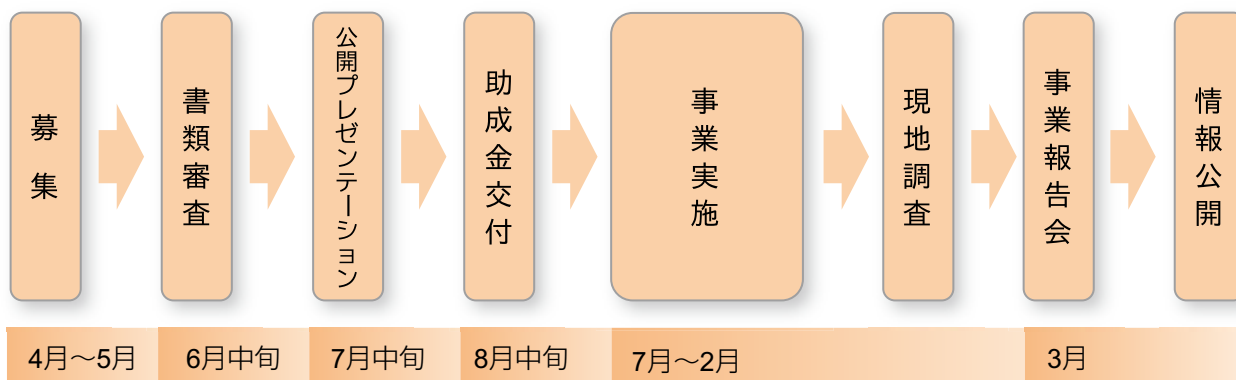
- | | |
|-------------|-----------|
| 1. まちづくり | 4. 農業 |
| 2. 学術・文化・芸術 | 5. スポーツ振興 |
| 3. 子どもの健全育成 | 6. 環境保全 |

対象団体 募集分野の活動をしているNPO法人

補助率 事業費の4/5を上限

助成限度額 50万円・100万円（分野による）

チャレンジサポート事業



環境普及啓発イベント

環境保全

(特) さやま環境市民ネットワーク (狭山市)

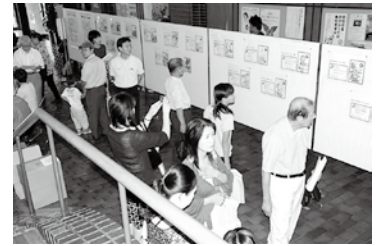
環境まちづくりを推進する市民組織「さやま環境市民ネットワーク」の存在を多くの市民に知ってもらい、活動への支持と共感の輪を拡大するためのアクションとして、「環境普及啓発イベントー環境市民として共に行動しませんか・わがまちさやま、そして地球のために」を開催しました。その内容は、環境ドキュメンタリー映画「不都合な真実」の上演、「英語でも楽しめるーさやま子ども環境カルタ」の展示会と表彰式、環境普及啓発パンフレットの作成・配布です。

助成を受けたことで、多くの市民に「環境普及啓発イベント」への参加を促し、あわせ

て訴求手段としての「普及啓発パンフレット」を作成し、イベント参加者のみならず、多くの市民に配布することで、初期の目的を達成することができました。

今後は、イベントを通じて得た成果を活かしながら、「環境について主体的に考える環境市民」を育み、

「環境まちづくり」を市民・事業者・行政が協働しつつ推進していきたいと考えています。



「きて見て織って手織りフェア」の開催

(特) くるみの木 (川越市)

手織りを通じて障害者を支援し市民との交流を図ろうと、2008年11月と2009年1月、3つの会場で「障がいをもつ人ももたない人もきて見て織って手織りフェア」を開催しました。

手織りフェアでは、授産所の他、地元川越唐棧の会からも出展をいただき、述べ32団体の授産所等の製品を展示販売しました。また、会場に織り機を持ち込み、手織り体験も行いました。手織り体験者は延べ74人、参加者は思い思いの糸を選び、世界に一つだけのマフラーを仕上げました。高齢者から子供まで、幅広い方々が手織りを体験され、とても楽しんでいました。第2回手織りフェア

(川越市北部ふれあいセンター)では、坂戸市在住のバイオリニスト加藤結子さんによるコンサートも行いました。

今後は、川越の多目的スペース『ちっちゃないちご』で、地域の障害者に手織りを楽しんでもらったり、スキルアップの支援を行ったり、市民の方を対象にした手織り教室を開催する他、手織り製品について商品開発にも取り組んでいく予定です。



よつばのおうちの子育て支援事業

(特) さやま保育サポートの会 (狭山市)

今回の助成で、家庭的で温かい保育を提供できる障がい児保育サポーターの養成、全6回8講座ができ、延べ107名の参加者がありました。講座には障がいのあるなしにかかわらず保育を付け、障がい児の親や小さな子どもを持ちステップアップを図りたい親から参加しやすかったと喜ばれました。

また、念願であった近くの中学校への出前講座を行いました。中学生時代に保育の場に親しんだことが進路に反映されているデータがあるので大変楽しみです。続いてお兄さんお姉さんの保育サポーター養成講座を開催し、中高生・短大生・大学生・一般の方と世代を超えたメンバーが集い学んでいただき、

希望者には両講座とも実習がついて座学では学べない遊びのいろいろを多岐にわたって実践を積み重ねていただきました。

今後もこの講座を展開し、子育てサポートの拠点として預かり保育を充実させ、ネットワークづくりを促進させて、会だより、ホームページなどで情報を発信し続けていきます。

また関係諸機関と連携し、地域ぐるみで子育てする環境作りのために貢献していきます。



自然エネルギー利用を普及させるための啓発活動 (特) 自然エネルギー利用を普及させる会 (さいたま市大宮区)

私たちは、「自然エネルギーで電気を作って遊ぼう」をテーマに体験イベントを催しました。子どもたちが「自然エネルギー」を遊びの中で体験して、自然エネルギー利用の意識を持ってもらい地球環境保護運動の一環に役立てることが目的です。

幼稚園、保育園の園児さんをはじめとして、公園など地域の人々が集まり、気軽に参加できるイベントにも出向いて自然エネルギー利用体験コーナーを設けて、多くの人に参加して、遊んでもらいました。また、自然エネルギー利用を見てもらうために、太陽光発電装置や発電水車などを会場に展示して、太陽光

発電を電源として発電水車を回転させ、その電気でイルミネーションを点灯し、自然エネルギーを利用してできた電気の流れを見てもらい、自然エネルギー利用がそれほど難しいものではないことをアピールしました。

今後も引き続き、子どもたちを中心に、地域の人々にも参加してもらい、地球環境保護を意識してもらえよう活動していきたいと思えます。



サイレント・マジック (特) Japan Close-up Magicians' Association (上尾市)

「確かにこれは学校の体育館では実現出来ませんね。」1人の観客が感慨深そうに、そうおっしゃいました。無論、マジック・ショーそのものなら、教室でも体育館でも催行可能です。実際、今回のメイン・イベント、彩の国さいたま芸術劇場での公演に先立ち、私どもはロシアから招いた3人の聴覚に障害をもつプロマジシャンたちと共に、2つの市立小学校と2つの県立ろう学校を訪問し、そこでマジックを演じることもしました。

しかしそれでも、芸術劇場・小ホールという日本有数の施設で、その空間に私たちが闇と光と、そして人々の表情で生み出した「小宇宙」は、全ての年齢層の観客に特別の感動

を与えるものであったと確信します。そしてそのショーを地域の子供さんには無料で提供できたことは、関係者一同の深い喜びとなりました。

催事を通して、制作者も演じ手も観客も、心穏やかな豊かな時間を共有したかけがえない経験は、まさに私どもの理想とする「体験を通して人と人がつながる」ことに通じるものと考えます。



地域の活力・子供の休み期間の育成活動 (特) たすけあいすぎな草加 (草加市)

今回の助成を受けたことで、地域活動の一員として横の繋がりができ、今後の活動に新しい扉が開かれたような気がします。

私たちは、子育てをテーマにした講演会を開催しました。フォーラム形式にして、地域で活動をしている方々に多数参加していただき、参加者から貴重な意見をいただくこともできました。

また、子供の居場所づくりにも取り組みました。県の助成事業として実施したことと、私たちの努力も認めて頂けたのか、利用した親御さんから「明日もお願いします」と言ってもらえるようになりました。

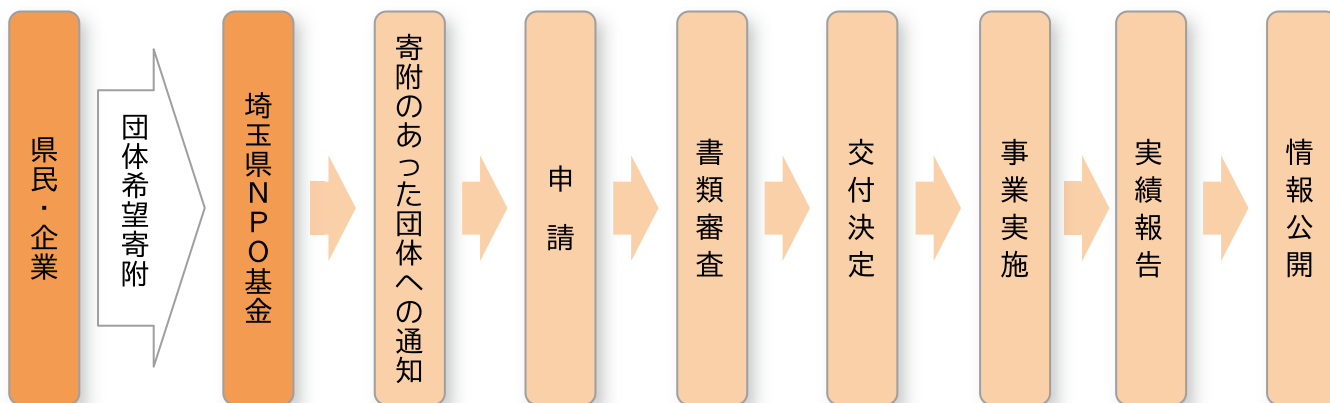
これらの事業を通じて、私たちも、地域活

動を担う一員という実感を得ることができました。しかし、地域の中でしっかり根を張り、信頼を受けるためには、さらに地道な努力が要求されます。

今回の活動を基に行政や他の活動団体ともさらに連携を深め、地域の方々が自分の街を愛せるよう貢献できるようになりたい。そのためにも、どのように活動を続け、広げていけばよいかをもっと考えていきたいと思えます。



みんなでサポート事業 (4月、9月、12月の年3回募集)



子どもの健全育成

(特) 越谷らるご (越谷市)

越谷らるごは、不登校の子どもやひきこもりの方、そしてそのご家族の方々の支援活動を行っています。特に事業の中心となるフリースクールりんごの木には、40名以上の不登校の子どもが通っており、子どもたちの気持ちを大切にしながら運営しています。

ひきこもりの方の支援として居場所事業を月2回、様々な悩みをかかえるご家族を対象に月1回、親の会を開催している他、相談事業や講演会、学習会などを行い、不登校やひきこもりについての理解を深め、その支援をしています。



まちづくり

(特) ふるさと街づくり推進協議会 (三郷市)

当会は、ボランティアを基本に、環境保全、地域社会の活性化、地域住民の生活環境の向上のために活動を行い、ボランティア活動と地域住民とのネットワークづくりをしながら、地域文化の向上と彩り豊かなふるさと街づくりを推進しています。主な活動は、環境美化活動や花いっぱい街づくり活動、5万鉢を目標とする「芝桜祭り」、ポピー街道を歩くイベント「ワンデーウォーク298三郷」、「菖蒲祭り」等々です。

(特) NPO菜の花エコプロジェクト埼玉 (坂戸市)

私たちは、遊休農地を活用し、無農薬で菜の花を栽培し、収穫した菜種から無添加で良質な菜種油を生産しています。廃食油はBDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルすることで、ごみ減量とエネルギーの地域自給、資源が循環するまちづくりにつながります。環境問題の解決は、市民一人一人の気づきと地道な市民活動の実践が重要です。さあ！あなたも“見て！食べて！車が走る菜の花体験!!”に参加しませんか。



国際協力

(特) 燈台 (北本市)

燈台は、アフガン難民及びアフガニスタン共和国国民のために、同国内及びその周辺地域において、医療及び教育等を実施することにより、アフガン難民等の福祉、健康の向上に寄与することを目的としています。

この目的達成のために、キリスト教精神による「愛の実践」と「アフガン難民が自国難民のために奉仕する場の提供」を活動理念としています。具体的には、診療所の運営や学校建設などの教育支援を行っています。

消費者保護

(特) 埼玉消費者被害をなくす会 (さいたま市浦和区)

当会は、「埼玉・商品被害をなくす連絡会」として9年間活動した後、平成16年11月に「埼玉消費者被害をなくす会」として法人化しました。

消費者被害の問題をなくし、消費者の権利確立を目指した活動を消費者や消費者団体、専門家などとのネットワークのもとに行っています。主に商品やサービス・契約・表示等に関して、被害情報を収集・調査・検討し、事業者の不当行為に対して是正の申し入れや、消費者への情報提供を行っています。

(特) スミレ (所沢市)

心の悩み、ひきこもり、ニート等で将来に不安を抱える方及びその保護者に対し、個別相談、精神心理分析、家族指導、医師への紹介等を行い、自立に向けての生活支援をしています。これまでの相談等事業に加え、“心に悩み”（精神障害者も含む）があり、社会の中で生活しづらい人たちにとっての就労の場を提供するため、“手作りパン”の製造・販売をスタートさせ、自立までの一連のサポートを行っています。

保健・医療・福祉

(特) 土と風の舎 (川越市)

花やみどり園芸や農を通じて、子供たちの情操教育、子育て支援、高齢者の健康維持・増進、世代間交流等に取り組んでいます。具体的には川越市内の畑地（こえどファーム）を活用した野菜・花・果樹の栽培と料理実習やクラフト教室、雑木林での自然体験会、高齢者施設や病院での園芸療法等を実施しています。今後は、
障害者の農業実習・就労研修等を行い、農園芸分野における障害者の就労支援に取り組んでいく予定です。



(特) ライフアップサポート (横瀬町)

ライフアップサポートは、地域における栄養改善や健康のための運動の普及活動を行い、すべての人が健康で長寿を全うすることを願っています。また、要介護状態になった方でもその人なりの健康というものがあり、その健康を維持していくために、介護保険のケアプラン作成を行っています。そしてこの少子高齢社会において、住み慣れた自宅で最後までそれぞれが希望した生活を送るためにどうしたらよいかということを考え、自分自身の健康管理と地域の助け合いの具体的方法を皆で考えています。

(特) みのり (白岡町)

障害の重い人たちひとりひとりが豊かな毎日を過ごせるよう願って、「生活サポートみのり」と「デイケア施設クローバー」を運営しています。今回の助成金で、障害者に利用しやすい施設や場の地図「お出かけマップ」を作りました。作成に当たっては、通所者が実際にJRを利用したり、ショッピングモールに出かけたりしましたが、とってもよい経験になりました。

今後、同じような障害を持つ人たちに情報提供していくとともに、日々の活動を充実させていきたいと思ひます。

(特) 自立支援ホームとことこの家 (所沢市)

街に出よう！
地域で共に暮らそう！障がいのある人もない人も！
～今までの様に施設中心ではなく、障がいのある人もない人も地域と一緒に生活を“楽しみ”“広げ”“つくりあげる”利用者の側に立った視点で、日々取り組んでいます。～
地域の中の「とことこの家」を目指しています。

(特) ぶどうの樹 (日高市)

障がい者の社会参加や就労の場の提供に関する事業を行うことを目的として、平成16年よりサークル遊*遊（障がい児とその親の社会参加）と、デイケアぶどう（障がい者の養護学校卒業後の進路）がスタートしました。デイケアぶどうでは、ボランティアの方々、地域の応援者の方々に助けられながら、色*色店（仲間の手作り品&リサイクル品）、花*花店（ソフトアイス&ホットドック）、農園の菜*菜（ブルーベリー、ハーブ、無農薬の野菜、さらにオレンジチェリー、グリーンマロウ）を運営しています。

(特) ユーフォリア (戸田市)

当法人は、心豊かに、人間らしく生きることを提唱し、障害児・障害者・高齢者とその家族に対し、介護と生活の扶助、自立の支援、社会への参加促進などの事業を行っています。具体的には、訪問介護事業、障害福祉サービス居宅介護事業、障害児（者）生活サポート事業、障害児放課後児童クラブ事業、福祉有償運送事業などの事業を行い、閉じこもりをなくし、楽しみ・生き甲斐のある社会参加を目標に日々活動しています。

(特) けやきファーム (さいたま市緑区)

私たちは、県内の休耕地を有効利用し、農業を通した様々な活動をし、『誰でも自立して安心して暮らせるように仕事と宿舎を作る』を最終目標としています。

今までの活動としては

- ・大豆の栽培から始める無添加手造り味噌製造の講習会
- ・有機農業を学習しながら実践のための果樹園造成
- ・県内産農産物で作る様々な加工食品講習会等々 があります。

今後も農作業、農産物加工、グループホーム設営、障害者就労などについて、講習会参加などを通して学習、計画、検討をしていきたいと思っています。

(特) たんぽぽ福祉村 (川口市)

たんぽぽ福祉村は、障害児学童保育室です。障害を持った子どもたちの放課後の保障と学校休假日の充実した生活の確立とその家族の健康を保ち、働く保障のできる支援施設を目指しています。会員は約80名。子どもたちのほとんどが重度の知的障害児ですが、とても楽しく毎日活動しています。いつもいろんな公園や施設に出かけたり、イベントも盛りだくさんです。楽しい遊びや体験でいっぱいの子学童です。

(特) 埼玉県障害者相談支援専門員協会 (川越市)

埼玉県内で障害者に対する相談支援事業に携わる人々に対し、相談支援に必要な知識や技術の研修事業を行い、障害者の地域生活や福祉の向上に寄与することを目的としています。障害者自立支援法により市町村に位置づけられた相談支援事業は、障害者の地域生活に重要な役割を担っています。当会は、障害者の地域生活の向上を目指すとともに、県全体の相談支援体制のネットワーク化を目標にして活動しています。

(特) たすけあいワーカーズこの指とまれ (さいたま市南区)

私たちは、市民による助け合いの理念に基づき、赤ちゃんからお年寄りまで生活の支援を必要とする人々に対し、保育、家事、介助、介護等支援、調査研究、政策提案等の活動を行います。住み慣れた地域で自分らしく暮らしたいと願う人に心温まる家庭的なサポートをし、サービスの担い手だけでなく、自分も受け手になることを意識して利用者の立場に立った支援を提供したいと思っています。



環境保全

(特) 埼玉エコ・リサイクル連絡会 (さいたま市大宮区)

「エコ」はエコロジーとエコノミーを意味します。「リサイクル」は広く持続可能な循環を意味しています。「連絡会」は県内のネットワークです。県内のごみ・リサイクルを考える団体で、個人が集まっています。県主催のリサイクル団体交流集会から生まれた連絡会ですが、93年11月の設立からは完全に市民の手で運営しています。「エコリサ通信」(年4~5回発行)やホームページにて、情報交換、情報ネットワーク作りを推進しています。

ホームページ
<http://www.townnavi.info/eco-risa>

大宮河川愛護会 (さいたま市見沼区)

イベントや学校での環境学習を通じて、水の大切さや家庭でできる河川に優しい生活などについて広く県民に啓発を行い、河川環境の保全や県民の生活・文化の向上に貢献したいと考えています。具体的には、綾瀬川・加田屋川・芝川・深作川の水質調査及び河川清掃、小中学校における環境学習、自然観察会等イベントなどを実施しています。また、県と協働して「水辺の里親制度」や「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」にも取り組んでいます。



(特) 川口市民環境会議 (川口市)

川口市を構成するさまざまな主体(市民・事業者・行政機関・教育機関など)が、理想的な協働関係(パートナーシップ)の下に環境問題の解決方法を考え、市民の行動を促し、そして社会の仕組みを環境に配慮したものにしていくことを目的として、川口を「環境意識が高く、かつ行動する人が多いまち」にしたいと活動をしています。

綾瀬川を愛する会 (川口市)

平成8年10月に会が発足し、綾瀬川の自然環境の向上を目的に活動を行ってきました。毎月第3土曜日の午前9時半から綾瀬川堤防のゴミ拾いを実施しています。水質調査は毎月第2水曜日に、綾瀬川の3箇所、伝右川1箇所を実施し、行政に報告しています。

県や市からの総合学習への協力要請には、会員を派遣し、小中学校の生徒たちと自然の大切さや水質浄化について一緒に考えています。

今後も河川環境改善団体や行政と連携を取りながら、この活動を推進していきます。

入間市不老川をきれいにする会 (入間市)

私たちは、不老川に清流を取り戻し、子どもたちが安心して遊べる水辺環境を目指して、日々、活動しています。毎年行っている4月の不老川土手の草刈、9月の不老川流域空き缶拾いには、大人と子どもが一緒になって汗を流しながら、不老川をきれいにしています。

1月28日、不老川の水質浄化と環境美化の啓発用看板を、NPO基金を利用して宮寺と藤沢の2地区に設置しました。看板の効果により、不老川が里川として再生することを願っています。

(特) 環境ネットワーク埼玉 (さいたま市大宮区)

当団体は、地球温暖化防止を始めとする環境保全活動を推進するため、「埼玉県地球温暖化防止活動推進センター(埼玉県温暖化防止センター)」の指定を目指すNPOとして平成17年1月に設立しました。

平成17年4月に埼玉県より埼玉県温暖化防止センターの指定を受け、埼玉県のセンターとして活動を開始しました。活動は温暖化防止のための普及啓発活動を中心とし、市民や事業者に対して幅広く情報の提供、研修事業、ネットワークづくりなどを行っています。

(特) 秩父の環境を考える会 (秩父市)

埼玉県で紹介で本格的に県・企業・高校・NPOの4者が連携・協力しての棚田再生事業が始まりました。

大勢の皆さんが体験を通じて自分たちの田圃という意識を共有し、稲の生長とともに人間関係を深めて実りの秋へ繋がったような気がします。体中泥んこの子供たちや、田圃から足が抜けなくなるほど真剣に作業する姿に私たちも感銘を受けました。

オオコオイムシ等希少生物の保護と古代米づくりを共に実現し、自然の素晴らしさを改めて確認しました。



学術・文化・芸術・スポーツ

(特) 埼玉県愛瓢会 (さいたま市見沼区)

埼玉県の一般市民に対し、瓢箪の愛好、普及指導に当たり、瓢箪文化の向上に関する事業を行い、埼玉県の一般市民の充実した余暇活動及びまちづくりを推進することを目的としています。具体的には、瓢箪の栽培・加工技術の研修や情報交換、講習会を行い、その成果を展示会で発表し、瓢箪文化を広く一般の方々に提供する活動を行っています。

(特) そばネット埼玉 (さいたま市大宮区)

日本の伝統食文化である“手打ちそば”の普及・啓発活動を展開しているそばネット埼玉は、平成21年2月末現在、埼玉県をはじめ近県のそば打ち愛好団体が14団体、個人会員110名、総計600人を超える組織です。

平成21年2月11日に、NPO基金を活用して「手打ちそばアカデミーinさいたま」をさいたま市内で開催しました。講師は有名そば店主で、プロの講和とそば打ちの技術指導が行われ、会場は受講生の熱気で溢れていました。

(特) さいたまスポーツクラブ (さいたま市見沼区)

さいたま市見沼区で、地域のために、地域の人々の協力により運営されている総合型地域スポーツクラブです。「親子エクササイズ」、「ジュニア卓球教室」、「シニアいきいき健康体操」など幅広い年齢層を対象としたスポーツ活動と、「歌と踊りと太鼓のフェスティバル」などの文化活動を行っているほか、「放課後地域子ども教室」の運営支援や、他団体への地域活動の協力も行っています。地域住民のスポーツへの生涯参加による青少年の健全な育成と、地域コミュニティの再構築が事業目的の2本柱です。

社会教育

(特) 科学映像館を支える会 (富士見市)

過去の貴重な映像遺産を著作権者了解の上、フィルムをデジタル化し、ウェブで無料配信しています。現在、204編を配信し、約4万6千人に鑑賞していただいています。また、過去2回、本会主催の上映会も行っています。これらの事業により、多くの方々に映像遺産を知って、観て、活用していただくとともに、埋蔵しつつある映像の保存、すなわち未来遺産化のための活動を行っています。また、最近では地方行政機関とタイアップした映像の公開も行っています。

(特) 八重椿 (上里町)

生涯学習支援並びに社会福祉実現のため、市民講師の育成及び高齢者の体力増強を目標に活動しています。具体的には、福祉老人センターや公民館を会場に、歌唱指導・マジック指導・話し方教室などの研修会を行い、市民講師を育成しています。また、熟年者体力増強支援講座やバードゴルフ大会などを開催し、高齢者の健康福祉を増進しています。高齢者のボランティア活動に目覚める前向きな心とそれに応える体力を養い、生きがいを感じる人生を送ってほしいと願っています。

NPO元気なまちづくり助成事業

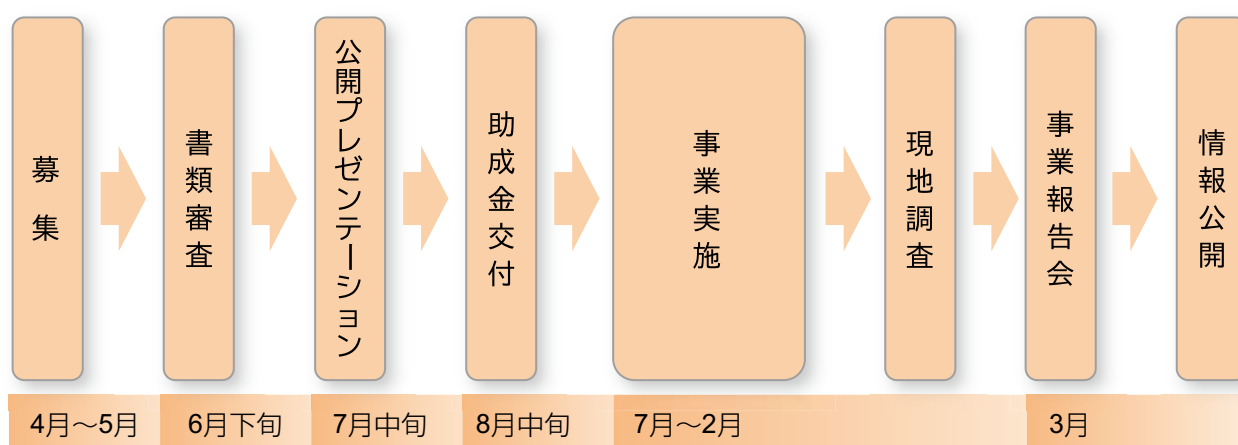
NPOが主体となって取り組む施設整備に対して助成を行い、NPOの活動拠点づくりや、地域資源を活用した施設整備を促進します。

地域でNPOが活動する拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出することで、地域で支え合うという共助意識を高め、地域に愛着を持ち、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」を目指します。

平成20年度事業内容

助成区分	活動拠点の整備事業	地域資源の活用事業
助成対象事業	住民交流を促進する活動拠点として、県内に新たに施設を整備する事業	歴史や自然など地域の資源を再評価し、まちづくりに活かすため、県内に住民交流を促進する施設を整備する事業
対象団体	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人	
対象経費	施設の整備に係る経費のうち、工事費もしくは設計費	
助成限度額	100万円上限	500万円上限 (助成対象経費の4/5限度)
事業実績	助成件数 計2件 助成金額 計1,994千円	助成件数 計2件 助成金額 計6,660千円

事業の流れ



平成21年度事業予定

十分な助成効果を得るため、また特色ある整備のために助成限度額の上限を引き上げ、下限を設定して実施します。助成額の上限は、活動拠点の整備事業は200万円、地域資源の活用事業は800万円が上限になります。

活動拠点 整備事業

川口支部拠点の整備を経ての地域安全活動の振興 (特) 日本ガーディアン・エンジェルス (事業地：川口市)

1 実施事業

地域安全活動の振興を図るため、川口支部拠点の改装工事を実施。

地域住民のための棚設置、青色回転等の設置、更衣スペース確保のための間仕切り工事等を行いました。

2 助成団体からの声

私たちは平成16年11月に川口市より誘致され、川口支部として地域防犯や青少年健全育成などに取り組んでいます。拠点はお借りしていましたが地域に開かれた場所とはいえ活動の展開に不安がありました。気軽に立ち寄れる場として、地域の方々にアピールしたかったのです。

日本ガーディアン・エンジェルスでは、全国各地で犯罪を未然に防ぐ活動に積極的に取り組んでいます。小さな子供たちの傷ついたところのケアの大切さ、そして、ケアが必要にならない為にも仲間や地域地元の方々との

コミュニケーションの大切さを訴えたい…。この事業で整備された拠点を有効に利用し、子供たちとともに犯罪予防に取り組みます。そして、気軽に立ち寄れる場所として活用し“明るい仲間づくりとまちづくり”に貢献したいと思います。



(左下) 川口支部外観 (右上) 安全セミナーの様子

活動拠点 整備事業

深谷市内の空き店舗を利用したNPOの拠点づくり (特) 住まいとまち創り集団 木犀 (事業地：深谷市)

1 実施事業

市内NPOの拠点にするため、空き店舗を活用した事務所及び交流スペースの設置工事を実施。

照明の増設、流し台の整備を行いました。

2 助成団体からの声

NPO同士の交流の場があればよいと思っていた矢先に、深谷商工会議所から空き店舗の2階を文化活動の拠点として使用してもよいという話をいただきました。しかし、長期間使用していなかった建物なので現状のままではとても使用できない状況でした。今回の助成事業に応募したところ幸いにも採択され、改修工事をすることができ、思った以上にきれいになって大変喜んでます。

整備された施設は、今後、NPOだけでなく他の団体にも広く利用していただき、まちの活性化の一役を担うことができる拠点にしていきたいと思っています。既にまちの便利

屋さん事業の拠点として活用しているほか、いくつかの団体の利用が決まり今後の活用が期待できます。また、近隣NPO協議会発足に向け準備を進めており、将来的には総括NPOの設立を目指したいと思っています。



「深谷市内のNPOの集い」の様子

地域資源 活用事業

「足袋蔵まちづくりミュージアム」開設事業 (特) ぎょうだ足袋蔵ネットワーク (事業地：行田市)

1 実施事業

「足袋蔵まちづくりミュージアム」の開設に向け、土蔵を改修し、展示兼交流情報スペースを整備しました。

2 助成団体からの声

私たちは、行田市の中心部に位置する明治39年築の使われなくなっていた足袋蔵（足袋の商品倉庫）を借用・整備・再活用し、市内に残る歴史的建築物の魅力を紹介するとともに、それを活かしたまちづくりや観光の情報や提案を発信し、まちづくりについて考え、語り合える“まちづくり情報センター兼観光案内所”を開設しました。

蔵の所有者、行田商工会議所、ものづくり大学、行田市、市内の市民活動団体等多数の方のご協力により事業は順調に進み、ものづくり大学生によるプレ・イベントを経て、2月14日「足袋蔵まちづくりミュージアム」を正式開館しました。今後はここを拠点に、

来訪者、NPO、市民等様々な方がまちづくりを語り合う交流の場とするとともに、歴史的建築物の保存・再生・活用による地域活性化を推進していく予定です。



(左上) 室内の様子



(右下) ミュージアム外観

地域資源 活用事業

みんなが集えるエコサロン野田改修事業 (特) まちづくり楽会 (事業地：東松山市)

1 実施事業

活動拠点「風と土の館」の納屋を改修し、陶芸、料理、餅つきなどのイベントスペースを整備しました。

2 助成団体からの声

市民活動は拠点を持つと大きく伸びます。このことは、昨年（2007）4月よりお借りしている「風と土の館・野田」を運営して感じています。

今回の事業では、雨漏りが激しく壁なども傷んでいた納屋と作業場を改修し、新たな活動の場として再生することができました。

さっそく完成を記念して、フルートとシンセサイザーによる音楽会をご近所も招待して開催することにしました。演奏家は小さな会場で音が大きすぎないかと当初心配していましたが、演奏が始まると音が土壁や天井の木にしみていくのか、すばらしい会となりました。

私たちは今後この会場を利用し、参加者が楽しめる催しや、スキルアップできる催しを展開していく計画です。また、宿泊型や日帰り型の都市農村交流の場として活用する計画を立てています。



(左上) 改修後の室内



(右下) 改修前の室内

NPO運営力強化・育成支援事業

NPOが継続的、安定的に組織を運営していくために必要なマネジメント力や広報力等に関する能力の向上を図り、NPOの組織運営基盤の強化を目指します。

平成20年度事業内容

1 NPO税務会計・人事労務相談会

税理士等の専門家が個別面談により、税務会計相談10回、人事労務相談2回を実施しました（相談件数48件）。

2 NPO運営力講座

NPOのマネジメント能力の向上を図る講座を県内各地で4回開催し、延べ223人が受講しました。

開催日、テーマ、講師は右表のとおりです。

3 NPO広報力講座

情報発信力や広報力を強化するための講座を4回開催し、延べ107人が受講しました。

開催日、テーマ、講師は右表のとおりです。



「ブログの作り方を学ぼう」の様子

4 若い世代のNPO参加応援事業

社会貢献活動に興味を持つ若い人たちを応援するため、NPOとの出会いの場を設け、その活動を体験する場を提供しました。

参加人数、内容は右表のとおりです。

NPO運営力講座の概要

9月4日 さいたま市	NPOの運営上の問題解決力をつけよう 松本修一（V・マネジメント代表）
9月17日 深谷市	NPOのための資金調達～基礎編～ 山口郁子（中央労働金庫総合企画部次長）
9月28日 川越市	コミュニティビジネスの事例から学ぼう 永沢映（コミュニティビジネスセンター代表理事）
10月6日 加須市	日々の会計について学ぼう 脇坂誠也（NPO支援東京会議・税理士）

※ 日付下は開催地

NPO広報力講座の概要

8月30日	自分たちの活動をわかりやすく魅力的に伝える 東一邦（さいたまNPOセンター理事）
8月30日	信頼に基づく寄附をどう集めるか 齋藤信夫（日本青年奉仕協会事務局長）
9月13日	インターネットの活用法を学ぼう NTTコミュニケーションズ（株）
9月13日	ブログの作り方を学ぼう NTTコミュニケーションズ（株）

※ 開催地はいずれもさいたま市

若い世代のNPO参加応援事業の概要

8月5日 さいたま市	NPOとの交流会：NPO8団体と若い世代の参加者33人が意見交換を実施。
8月～11月 県内各地	NPO活動体験：延べ17人が、希望するNPOで活動体験を行いました。

※ 日付下は開催地

平成21年度事業予定

NPOが支援の輪を広げるために必要な情報発信力を強化する講座等を実施します。また、地域講座を新設します。

- NPO運営力講座** NPOのマネジメント能力の向上を図る講座を実施します。
- NPO広報力講座** ホームページを有しないNPOを対象に、コンテンツ作りから始めて、具体的なホームページの作成方法を学びます。
- NPOホームページコンテスト** 優れたホームページを顕彰し、他の模範とすることで、情報発信力を高めます。
- 地域講座** 地域の実情に合わせた講座を開催し、課題の解決を図ります。

NPO協働提案推進事業

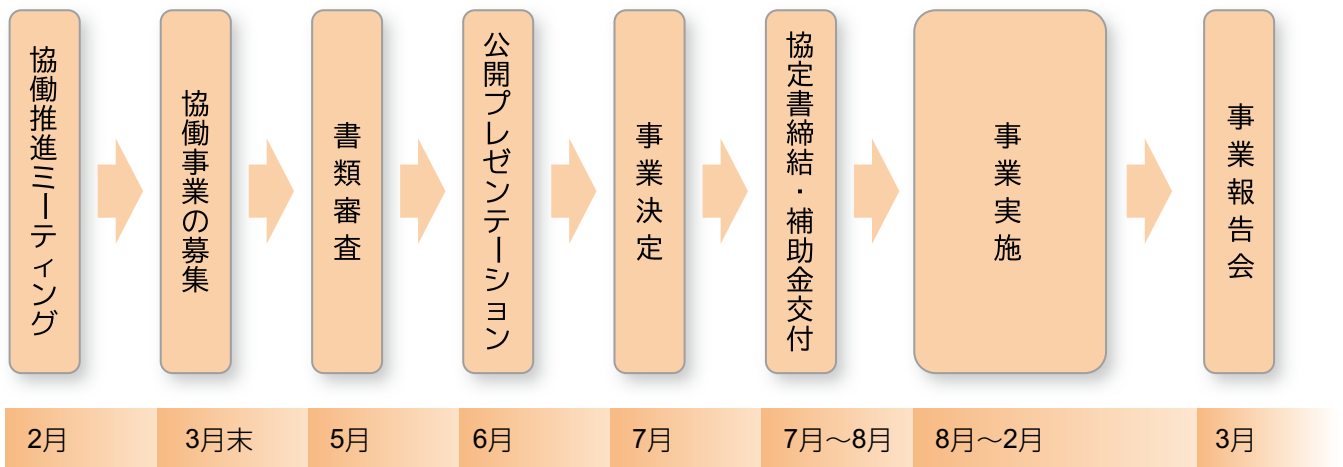
地域社会の課題について、NPOから県と協働して取り組める事業を提案してもらい、NPOと県が協働で事業を実施することで、NPOと行政との協働を推進します。

事業の実施にあたっては、県とNPOとの役割分担を明確にした上で協定書を締結し、実施主体となるNPOへ事業費を補助します。

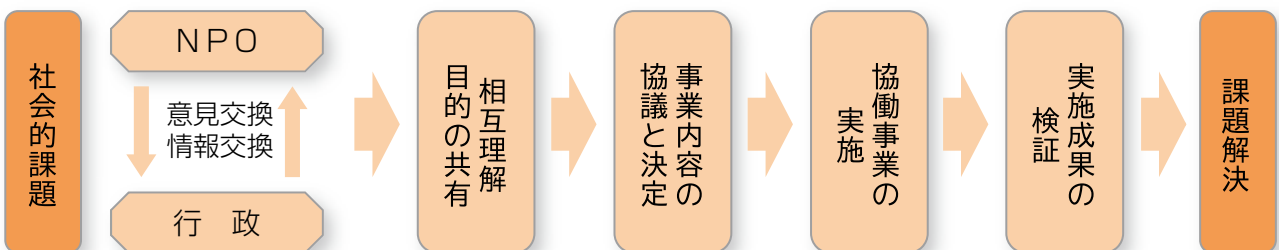
平成20年度事業内容

対象となる事業	NPOと県が協働で行う事業としてふさわしいもの（①か②のいずれか） ① 県が協働したいと考えるテーマに関する提案 ② 自由な提案
応募資格	県内に事務所を有し、県内を中心に活動しているNPO法人及び任意団体
補助額	150万円上限（事業費の4/5以内）
事業実績	補助件数 計4件 補助金額 計5,655千円

事業の流れ



NPOと行政との協働の流れ



平成21年度事業予定

平成20年度と同様に、県とNPOとの役割分担を明確にした上で協定書を締結し、実施主体となるNPOへ事業費を補助します（総額600万円の範囲内で複数の事業を実施）。

生活サポート互助システムづくり事業（テーマ提案）

市民の福祉と医療の情報センター（さいたま市浦和区） & 介護保険課

1 団体の活動紹介

市民の福祉と医療の情報センターは、市民が福祉情報と医療情報を共有するために、医療・福祉などの多様な分野で活動しているNPOや市民グループ、個人ボランティアが、それぞれの専門性を生かして支援するネットワーク型の団体です。市民自らが、地域の福祉や医療の実際を①調べる②確かめる③知らせることを基本にして、5年間活動してきました。その新しい取組として、「生活サポート互助システムづくり」を開始しました。

2 協働事業の概要

生活圏ごとに、有償ボランティアを原則とした「共助の仕組み」をつくる『生活サポート互助システムづくり』事業（名称＝このまちで暮らす会・むさしうらわ）は、「できる限り長く、住みなれた地域で、自立して暮らし続けるための共助の仕組み」です。その活動は、①会員相互の生活サポートと②専門

家・NPOなどによる専門性の高いサポートによる高齢者の暮らしの安全・安心サポートです。取組は、2万枚のパンフレットを配布することから始まりました。同時に、共助の仕組みづくりを全県的に進めるために「共助のための人づくり講座」も開催しました。

県は、広報力や信用力、調整力でNPOの地道な活動を支えました。武蔵浦和生活圏の会員も30名を超え、見沼区へも波及するなど、着実に「共助」の大切さが地域の皆さんに理解され始めています。



彩の国商業IT革新塾（テーマ提案）

（特）東上まちづくりフォーラム（志木市） & 商業支援課

1 団体の活動紹介

（特）東上まちづくりフォーラムは設立6年を迎え、平成19年9月、県団塊世代活動支援センターとの協働事業としてビジネス助っ人隊を編成し、企業OBのメンバー約100名が現役時代のノウハウと人脈を活用し地元中小企業の悩み事の解決改善を業務受託しています。

特にIT出身者は、パソコン操作方法やホームページ作成などの講習会を開催しており、身障者向けやシニア情報アドバイザー講習会も開催しています。

2 協働事業の概要

従来からネットショップ講習会は開催されていますが、ネットショップの開店に至らず終わってしまうことが多いのが実情でした。そこで、彩の国商業IT革新塾はネットショップを開店させることを目標に企画、実施しました。

県北で受講できるように、30名の定員を

北与野会場と熊谷会場の2会場に分けて開催しました。導入戦略編（3回）ではネットショップの事例と高い繁盛の経営手法、実践編（5回）ではMakeShop社のネットショップASPサービス教材を講習しました。その結果、受講生30名の内23名（修了率:76.7%）が最後まで受講。テストネットショップを開店させました。中には1か月で60万円を売り上げた店もあります。県は受講生募集、テキスト印刷、北与野会場の提供などを行いました。



1 日漁師～ブラックバス食べちゃいます～（テーマ提案）

（特）名栗カヌー工房（飯能市） & 生産振興課

1 団体の活動紹介

（特）名栗カヌー工房は、自然を愛する人々に対し、西川材（地元材）の有効活用によるカヌー制作教室およびカヌー漕艇教室、木工教室等を開催し、文化芸術活動のサポート、名栗湖の環境保全をすることを目的に活動しています。特に学校教育、子供会、公民館活動等のサポートに積極的に取り組み、カヌーを通じて木や自然に親しみ、体験し、やり遂げる喜びの場を提供しています。

また、都市と山村の交流を活発に行い、地域社会の活性化を目指しています。

2 協働事業の概要

有間ダム（名栗湖）に生息する外来魚のコクチバスを駆除すると共に、生態系の保全、調査を実施しました。県の広報紙などで一般の参加者を集め、イベント（一日漁師）として5回、カヌーを使い刺し網によるコクチバスの駆除・試食会を行い、合計118名の参加者により286匹ものコクチバスを駆除す

ることができました。試食会では素材を生かしたアイデア料理を作り、おいしい食べ方を広めることができました。

また、啓発看板を作成、設置したり、出前講座や県が実施した「魚再棲塾シンポジウム」などでの活動報告により、釣り人や地域住民への普及啓発をしました。

関係機関の協力の下、駆除活動や啓発を進めることで、コクチバスの違法放流を許さない地域文化を確立させていく礎を築く事ができました。



埼玉ストリートミュージシャン支援プログラム（自由提案）

（特）NPO埼玉ネット（さいたま市桜区） & 文化振興課

1 団体の活動紹介

（特）NPO埼玉ネットは、NPOフェスタ、NPO塾in埼玉（研修会）、行政・指定管理者との協議機関への委員派遣、ラジオ番組「キミに、つながレディオ！」制作、NPO共同オフィス「埼玉NPOハウス」企画運営等の活動を通して、全国的なネットワーク組織と連携し、埼玉県における市民が行う非営利活動の連絡、交流、支援を行い、豊かで充実した市民社会づくりに寄与しています。

2 協働事業の概要

若い世代の新しい文化を創造し、全国に発信するため、県の「埼玉ストリートミュージシャン（SSM）制度」と連携して、若手ミュージシャンの支援事業を実施しました。

① 埼玉県内40会場で平成20年9月から平成21年2月まで、のべ136組のSSMが参加して、SSMまつり（ライブ）を実施しました。

② ラジオ番組「SSMミュージックフレ

ンズ」を47回、51組のSSMの参加で制作し、平成20年9月から平成21年2月までの毎週土曜日約30分放送し、その後インターネットオンデマンド配信を行いました。

以上により、多数の観客、来場者があり、定期的に演奏ができる場所の確保とラジオでの発表機会の創出やオンデマンド配信により、SSMの曲を広く発表するとともに、新たなリスナーを開拓することができ、全国にSSMを発信できました。



埼玉県NPO基金に御寄附いただいた皆様

団 体

敬称略

個 人

敬称略

(株) 荻野精機製作所
 (有) タイアップ・ユウ
 国際ロータリー第2570地区
 (株) フジナミ
 赤城乳業 (株)
 エビスワ調査測量 (株)
 (株) 丸善埼玉工場
 マイハート基金
 (株) ダイコウ
 (財) 埼玉県公園緑地協会
 NTTコミュニケーションズ (株)
 (株) エイチワン
 トキタ種苗 (株)
 (株) 市之瀬電設
 キリンビール (株) 埼玉統括支社
 みたけ食品工業 (株)
 富士パン粉工業 (株) 鴻巣工場
 入間ガス (株)
 (社) 埼玉県看護協会
 (株) ユーディケー
 (株) 博進吉川店
 (社) 埼玉県歯科医師会
 (社) 埼玉県薬剤師会
 アサヒビール (株) 埼玉統括支社
 日産ディーゼル工業 (株)
 (社) 全日本不動産協会埼玉県本部
 協和化工 (株) 埼玉工場

天徳寺
 武蔵建設 (株)
 上陽レミコン (株) 朝霞工場
 (株) ダイショウ
 ジーイー・システム (株)
 埼玉配電工事 (株)
 (株) 猪俣産業
 埼玉県生活協同組合連合会
 チャリティー関東寄席
 (株) 宮原設計測量
 三位電気 (株)
 小沢電気工事 (株)
 (社) 埼玉県環境検査研究協会
 (株) 武蔵野燕家
 (特) 豊友会結婚支援協会
 (株) 青木電設
 (特) フリーマーケット主催団体協議会
 (有) さいたま典礼
 大圓寺国際ボランティア会
 (株) ウィズコーポレーション
 前埼玉県知事故土屋義彦氏を偲ぶ会実行委員会
 信濃屋販売 (株)

櫻井 慧子
 石井 正剛
 石川 泰夫
 大久保 毅
 大寄 浩志
 水間 喜美子
 小島 すま
 伊藤 順一
 内藤 雅子
 丸木 和子
 丸木 希代
 高橋 司
 井瀧 佐智子
 島村 治作
 中田 隆
 河登 一郎
 高橋 優子
 福田 望
 立石愛子

匿名希望16名

平成21年3月31日現在 (寄附順)

匿名希望1社

御寄附いただき
 ありがとうございました

御寄附いただいた方からの声

アサヒビール(株)埼玉統括支社 様

企業としての社会的責任を果たすことは、今、私たち企業にとって最も重要なテーマだと認識しています。また、地域社会との共生のなかでお客様満足を追及し続けていく行動が大切であると考えております。

私たちは、県内のスポーツ振興にお役立ていただくため、昨年「アサヒスーパードライ がんばれ！埼玉西武ライオンズ缶」を発売し、売上の一部を寄附いたしました。

21年度もアサヒスーパードライ「うまい！を明日へ！プロジェクト」として、埼玉県の環境保全活動にお役立ていただくため、引き続き寄附させていただきます。

埼玉県のNPO活動の発展、市民が主体となった地域社会づくりの一助となれば幸いです。

櫻井 慧子 様

国際ライオンズ330-C地区ガバナーとして(2004~2005)は超多忙な毎日でした。任期が終わった後も忙しさは変わりませんが、その中でも毎日欠かさず実行しているのが足の不自由な主人と一緒に散歩することでした。

二年前に上田知事からNPOについてお話を伺ったことがあります。身障者の援助や、社会福祉、環境保全、その他真剣にお話される姿に感動いたしました。

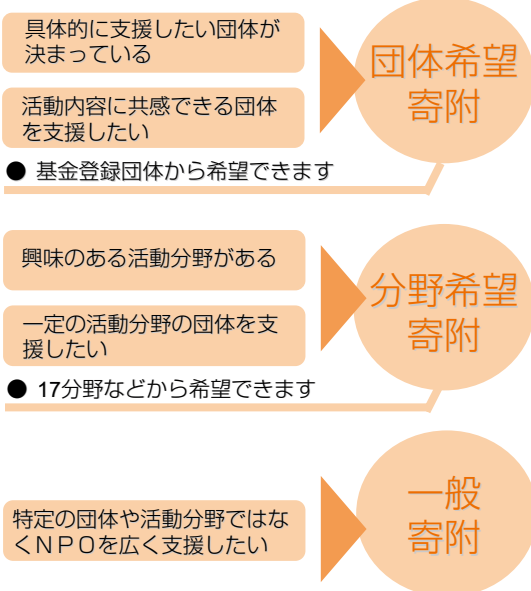
釣り人で賑わう別所沼のほとりを歩いていると身障者の人達がヘルパーさんに付き添われてゆっくりと通り過ぎたり、老夫婦が杖を突きながら並んで歩いている姿に接し、福祉を必要としている人達を身近に感じたりする時、ふと「貧者の一灯」の古諺を思い出し、心をこめて寄附をさせていただきました。今、ライオンズクラブのメンバーにも呼びかけております。

皆様からの御寄附をお願いします

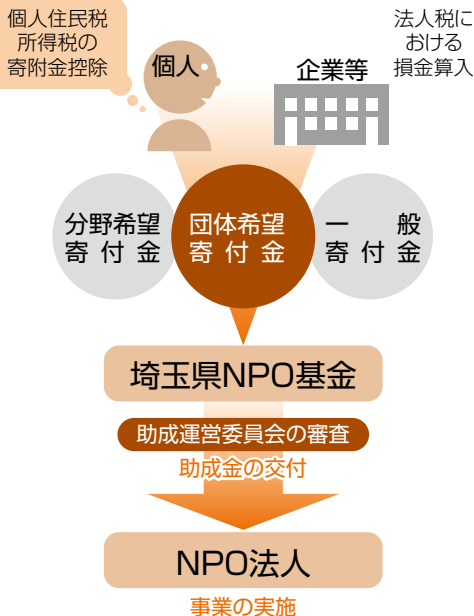
埼玉県NPO基金では、県民の皆様や企業の皆様の御寄附を募っています。

埼玉県NPO基金への寄附方法

次の3つの方法からお選びいただけます。



団体希望寄附金制度の仕組み



埼玉県NPO基金に御寄附いただくと、税法上の優遇措置があります。

個人の場合

1 所得税

寄附金額が所得の合計額の40%のどちらか低い方の金額から5千円を差し引いた金額が控除されます。[所得税法第78条]

例えば、課税所得300万円の方が10万円寄附した場合、 $(10万円 - 5千円) \times 税率10\% = 9,500$ 円が減税されます。

2 個人住民税

次の①と②の合計額が税額から控除されます。

① $(寄附金額 - 5千円) \times 10\%$

② $(寄附金額 - 5千円) \times (90\% - 所得税の税率)$

なお、②の額については個人住民税所得割額の1割が限度となります。また、寄附金額は他の寄附金と合わせて所得の合計額の30%が上限となります。[地方税法第34条及び第314条の2]

3 相続税

相続した財産を申告期限内に寄附した場合、その寄附した財産は、相続税の課税価格に算入されません。ただし、一定の要件があります。[租税特別措置法第70条]

法人の場合

寄附金額の全額を損金算入することができます。[法人税法第37条]

御寄附の額が、個人で10万円、団体で50万円以上になると次の特典があります。

- 知事から感謝状を贈呈させていただきます
- 埼玉県NPO情報ステーションにバナー広告を掲載できます。
- 50万円以上の分野希望寄附をいただいたときは、助成事業名に寄附者が愛称をつけることができます。

※認定NPO法人（国税庁長官の認定を受けたNPO法人）に対して直接寄附した場合についても寄附金控除等を受けることができます。詳細については国税局又は税務署にお尋ねください。

お問い合わせ先



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 県民生活部 NPO活動推進課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-2828 FAX 048-830-4751 E-mail a2835@pref.saitama.lg.jp

URL <http://www.saitamaken-npo.net/> (埼玉県NPO情報ステーション)